

平成21年三重県消費者物価指数の動向

1 概 要

三重県…平成21年平均の三重県消費者物価指数は、平成17年を100とした総合指数で101.4となり、前年に比べ1.0%の下落でした。

また、持家の帰属家賃を除く総合指数は101.1で、前年に比べ1.4%の下落でした。

全 国…平成21年平均の全国消費者物価指数は、平成17年を100とした総合指数で100.3となり、前年に比べ1.4%の下落でした。

また、持家の帰属家賃を除く総合指数は100.5で、前年に比べ1.5%の下落でした。

平成10年からの三重県消費者物価指数の動きを総合指数でみると、平成12年から平成14年までは下落しました。平成18年から平成20年までは毎年上昇していますが、平成21年では下落しました。(図1、表1、統計表第1表)

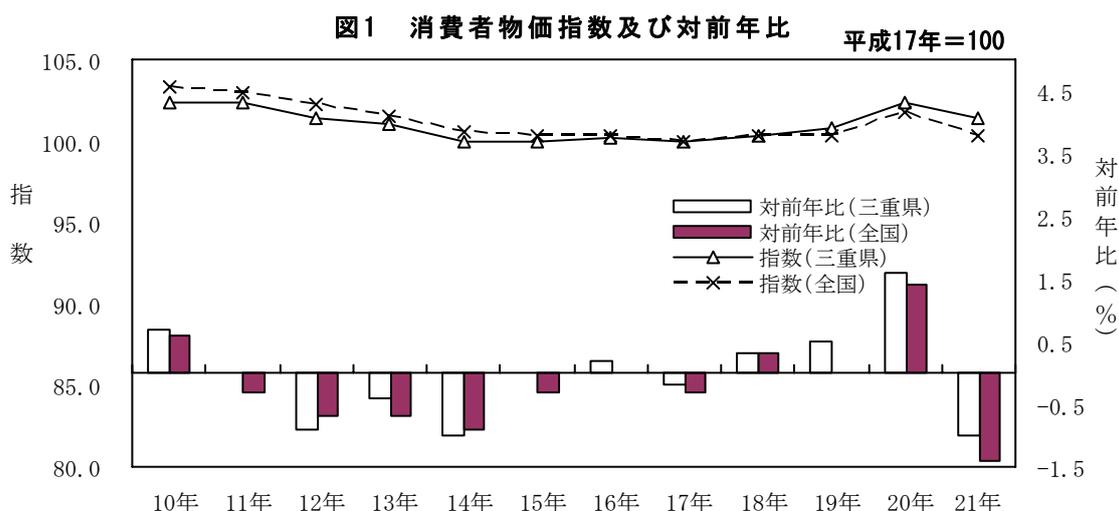


表1 総合指数と対前年比の推移

平成17年 = 100

	三重県				全国					三重県				全国			
	総合	対前年比(%)	総合(※)	対前年比(%)	総合	対前年比(%)	総合(※)	対前年比(%)		総合	対前年比(%)	総合(※)	対前年比(%)	総合	対前年比(%)	総合(※)	対前年比(%)
平成10年	102.3	0.7	103.4	0.9	103.3	0.6	104.1	0.7	平成16年	100.2	0.2	100.2	0.0	100.3	0.0	100.4	0.0
平成11年	102.3	0.0	103.1	-0.3	103.0	-0.3	103.7	-0.4	平成17年	100.0	-0.2	100.0	-0.2	100.0	-0.3	100.0	-0.4
平成12年	101.4	-0.9	102.1	-0.9	102.2	-0.7	102.8	-0.9	平成18年	100.3	0.3	100.3	0.3	100.3	0.3	100.3	0.3
平成13年	101.0	-0.4	101.4	-0.7	101.5	-0.7	101.8	-0.9	平成19年	100.8	0.5	100.7	0.4	100.3	0.0	100.4	0.1
平成14年	100.0	-1.0	100.4	-1.0	100.6	-0.9	100.7	-1.1	平成20年	102.4	1.6	102.5	1.8	101.7	1.4	102.0	1.6
平成15年	100.0	0.0	100.2	-0.2	100.3	-0.3	100.4	-0.3	平成21年	101.4	-1.0	101.1	-1.4	100.3	-1.4	100.5	-1.5

※ 持家の帰属家賃を除く総合：持家の帰属家賃は、持家の住宅を借家とみなした場合に支払われるであろう家賃を推計したもので、実際の市場価格ではないので、特にこれを除外した「持家の帰属家賃を除く総合指数」を示しています。

2 年間の動き

平成21年における三重県消費者物価の総合指数の動きについて、月別に対前月比及び対前年同月比をみると、次のとおりでした。(図2、表2、表3、統計表第2表)

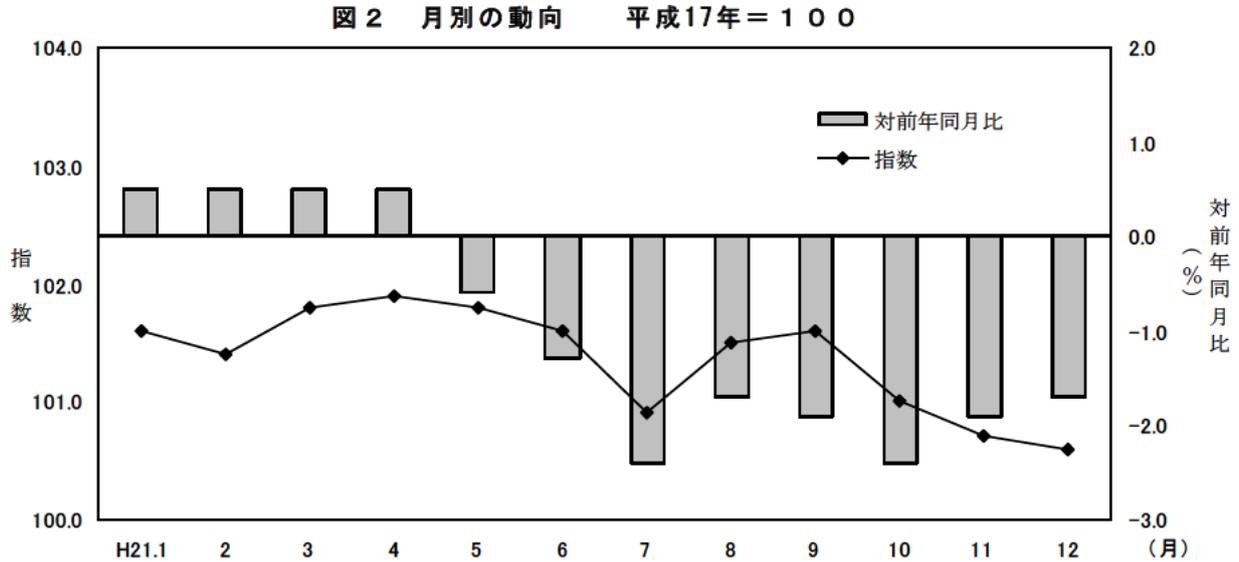


表2 三重県の総合指数・対前月比と主な変動費目

月	総合指数 (対前月比 (%))	上昇した 主な費目 (対前月比)		下落した 主な費目 (対前月比)		(参考)		
						全国総合指数 (対前月比 (%))	持家の帰属家賃を 除く総合 (対前月比 (%))	
							三重県	全国
1月	101.6 (-0.7)	室内装備品 6.6% 電気代 2.8% 家庭用耐久財 2.1%	衣料 -18.7% 他の光熱(灯油) -10.0% 他の被服類 -7.5%	100.7 (-0.6)	101.4 (-0.8)	100.9 (-0.6)		
2月	101.4 (-0.2)	教科書・学習参考教材 9.4% 調理食品 4.5% 油脂・調味料 4.0%	果物 -8.7% シャツ・セーター・下着類 -6.2% 野菜・海藻 -4.5%	100.4 (-0.3)	101.2 (-0.2)	100.6 (-0.3)		
3月	101.8 (0.4)	衣料 8.7% 他の被服類 3.7% 魚介類 3.3%	他の光熱(灯油) -8.0% 油脂・調味料 -6.5% 身の回り用品 -4.6%	100.7 (0.3)	101.7 (0.5)	100.9 (0.3)		
4月	101.9 (0.1)	シャツ・セーター・下着類 9.4% 衣料 3.9% 他の光熱(灯油) 3.6%	果物 -7.5% 乳卵類 -3.2% 医薬品・健康保持用摂取品 -2.6%	100.8 (0.1)	101.8 (0.1)	101.0 (0.1)		
5月	101.8 (-0.1)	果物 22.0% 衣料 2.1% シャツ・セーター・下着類 2.1%	電気代 -4.1% ガス代 -4.1% 野菜・海藻 -2.5% 家事用消耗品 -2.5%	100.6 (-0.2)	101.7 (-0.1)	100.8 (-0.2)		
6月	101.6 (-0.2)	調理食品 3.4% 果物 2.5% 他の光熱(灯油) 1.0%	穀類 -2.7% 魚介類 -2.4% 電気代 -2.2%	100.4 (-0.2)	101.5 (-0.2)	100.6 (-0.2)		
7月	100.9 (-0.7)	履物類 5.2% 医薬品・健康保持用摂取品 3.5% 他の光熱(灯油) 1.0% 交通 1.0%	果物 -9.0% シャツ・セーター・下着類 -7.2% 室内装備品 -6.4%	100.1 (-0.3)	100.7 (-0.8)	100.2 (-0.4)		
8月	101.5 (0.6)	果物 16.5% 野菜・海藻 8.2% 寝具類 2.3%	シャツ・セーター・下着類 -2.8% 教養娯楽用耐久財 -2.5% 電気代 -1.4%	100.4 (0.3)	101.1 (0.4)	100.5 (0.3)		
9月	101.6 (0.1)	衣料 11.7% シャツ・セーター・下着類 7.7% 他の被服類 5.2%	果物 -8.2% 室内装備品 -2.3% 家事雑貨 -2.2%	100.4 (0.0)	101.3 (0.2)	100.6 (0.1)		
10月	101.0 (-0.6)	乳卵類 1.6% 家庭用耐久財 1.5% 油脂・調味料 1.3%	野菜・海藻 -5.8% 履物類 -3.9% 教養娯楽用品 -2.4%	100.0 (-0.4)	100.6 (-0.7)	100.1 (-0.5)		
11月	100.7 (-0.3)	衣料 2.4% 寝具類 1.5% 家事雑貨 0.5%	果物 -7.6% シャツ・セーター・下着類 -2.3% 教養娯楽用耐久財 -2.2%	99.8 (-0.2)	100.2 (-0.4)	99.8 (-0.3)		
12月	100.6 (-0.1)	他の光熱(灯油) 3.3% 油脂・調味料 1.9% 教養娯楽用品 1.0%	家庭用耐久財 -2.5% 教養娯楽用耐久財 -2.4% 医薬品・健康保持用摂取品 -2.2%	99.6 (-0.2)	100.2 (0.0)	99.7 (-0.1)		

表3 三重県の総合指数・対前年同月比と主な変動費目

月	総合指数 (対前年同月比 (%))	上昇した 主な費目 (対前年同月比)		下落した 主な費目 (対前年同月比)		(参考)		
						全国総合指数 (対前年同月 比(%))	持家の帰属家賃を 除く総合 (対前年同月比 (%))	
							三重県	全国
1月	101.6 (0.5)	電気代 9.9% 菓子類 9.0% 穀類 8.8%	他の光熱(灯油) -26.6% 教養娯楽用耐久財 -17.9% 自動車等関係費 -9.9%	100.7 (0.0)	101.4 (0.4)	100.9 (0.0)		
2月	101.4 (0.5)	油脂・調味料 11.4% 電気代 9.9% 調理食品 9.8%	他の光熱(灯油) -26.8% 教養娯楽用耐久財 -22.4% 自動車等関係費 -9.4%	100.4 (-0.1)	101.2 (0.5)	100.6 (0.0)		
3月	101.8 (0.5)	電気代 9.9% 教科書・学習参考教材 9.4% 家事サービス 8.5%	他の光熱(灯油) -32.8% 教養娯楽用耐久財 -18.0% 自動車等関係費 -8.5%	100.7 (-0.3)	101.7 (0.5)	100.9 (-0.2)		
4月	101.9 (0.5)	電気代 10.4% 教科書・学習参考教材 9.4% 菓子類 7.0%	他の光熱(灯油) -30.4% 教養娯楽用耐久財 -16.8% 室内装備品 -5.0%	100.8 (-0.1)	101.8 (0.4)	101.0 (-0.1)		
5月	101.8 (-0.6)	教科書・学習参考教材 9.4% 電気代 5.9% 穀類 4.7% 菓子類 4.7%	他の光熱(灯油) -33.3% 教養娯楽用耐久財 -16.3% 自動車等関係費 -8.2%	100.6 (-1.1)	101.7 (-0.9)	100.8 (-1.2)		
6月	101.6 (-1.3)	教科書・学習参考教材 9.4% 調理食品 5.0% 電気代 3.6%	他の光熱(灯油) -38.4% 教養娯楽用耐久財 -16.4% 自動車等関係費 -9.7%	100.4 (-1.8)	101.5 (-1.6)	100.6 (-1.9)		
7月	100.9 (-2.4)	履物類 10.0% 教科書・学習参考教材 9.4% 菓子類 3.0%	他の光熱(灯油) -43.4% 教養娯楽用耐久財 -17.1% 自動車等関係費 -10.5%	100.1 (-2.2)	100.7 (-2.8)	100.2 (-2.6)		
8月	101.5 (-1.7)	教科書・学習参考教材 9.4% シャツ・セーター・下着類 6.2% 履物類 5.8%	他の光熱(灯油) -42.2% 教養娯楽用耐久財 -18.9% 自動車等関係費 -10.8%	100.4 (-2.2)	101.1 (-2.3)	100.5 (-2.6)		
9月	101.6 (-1.9)	教科書・学習参考教材 9.4% 履物類 4.2% 菓子類 2.4%	他の光熱(灯油) -39.8% 教養娯楽用耐久財 -19.4% 自動車等関係費 -8.8%	100.4 (-2.2)	101.3 (-2.4)	100.6 (-2.5)		
10月	101.0 (-2.4)	教科書・学習参考教材 9.4% 保健医療サービス 1.5% 菓子類 1.3%	他の光熱(灯油) -36.4% 教養娯楽用耐久財 -16.2% ガス代 -9.6%	100.0 (-2.5)	100.6 (-2.9)	100.1 (-2.9)		
11月	100.7 (-1.9)	教科書・学習参考教材 9.4% 保健医療サービス 1.5% 授業料等 1.1%	他の光熱(灯油) -22.9% 教養娯楽用耐久財 -16.9% ガス代 -9.6%	99.8 (-1.9)	100.2 (-2.4)	99.8 (-2.2)		
12月	100.6 (-1.7)	教科書・学習参考教材 9.4% 保健医療サービス 1.5% 自動車等関係費 1.4%	教養娯楽用耐久財 -16.7% 果物 -9.8% ガス代 -9.3%	99.6 (-1.7)	100.2 (-2.0)	99.7 (-1.8)		

3 費目別指数の動き

平成21年平均の三重県消費者物価指数は、教科書・学習参考教材が値上がりしたものの、前年の原油価格高騰の終息による灯油やガソリンの値下がりに加え、教養娯楽用耐久財が継続して値下がりしたことなどにより、全体では前年に比べ1.0%の下落となりました。10大費目別に前年と比較すると、食料、住居、教育が上昇し、保健医療は前年と同水準で、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、交通・通信、教養娯楽、諸雑費が下落しました。(図3、表4、図4)

(1) 食料

食料は 103.2 となり、前年に比べ 0.1%の上昇でした。変化の内訳をみると、前年に比べ上昇したのは、菓子類が 3.9%、調理食品が 2.3%、外食が 0.9%などでした。

一方、下落したのは、果物が 3.7%、飲料が 2.7%、野菜・海藻が 2.2%などでした。

生鮮食品についてみると、生鮮魚介は、各月とも平成17年の平均水準である100を上回って107.2となり、対前年比は1.2%の下落でした。

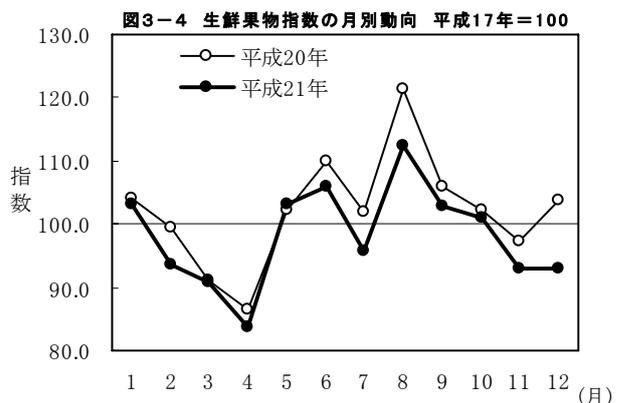
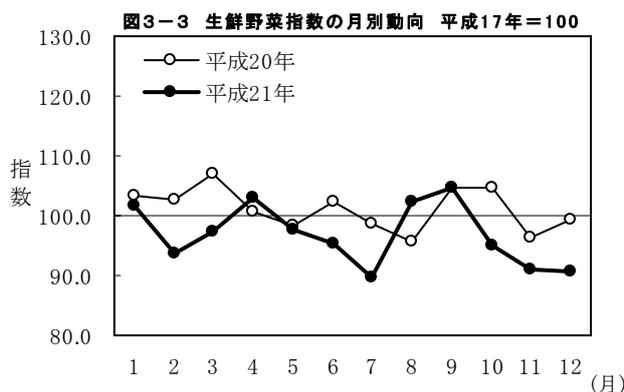
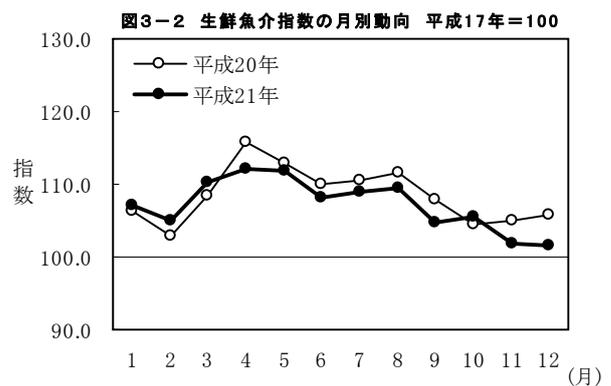
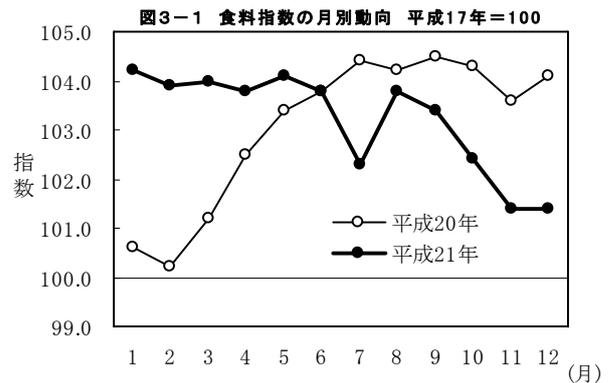
生鮮野菜は、96.9となり、対前年比は4.2%の下落でした。

生鮮果物は、98.2となり、対前年比は3.8%の下落でした。

表4-1 食料の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成20年平均	平成21年平均	平成20年平均	平成21年平均
食料	103.1	103.2	2.9	0.1
穀類	106.0	106.3	7.3	0.3
魚介類	106.5	106.1	2.4	-0.4
生鮮魚介	108.5	107.2	1.9	-1.2
肉類	105.0	103.4	3.0	-1.5
乳卵類	105.4	105.7	8.9	0.3
野菜・海藻	102.1	99.9	2.1	-2.2
生鮮野菜	101.2	96.9	1.6	-4.2
果物	101.7	97.9	-4.2	-3.7
生鮮果物	102.1	98.2	-4.5	-3.8
油脂・調味料	102.4	101.7	4.4	-0.7
菓子類	104.1	108.2	4.8	3.9
調理食品	102.6	105.0	2.6	2.3
飲料類	96.8	94.2	-1.1	-2.7
酒類	98.1	98.3	2.1	0.2
外食	102.4	103.3	2.0	0.9



(2) 住居

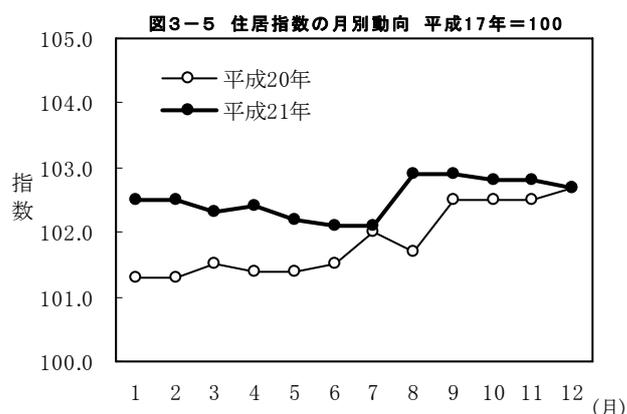
住居は12月を除き各月とも対前年同月を上回って102.5となり、前年に比べ0.6%の上昇でした。

内訳をみると、家賃が民営家賃（木造中住宅）、持家の帰属家賃（木造中住宅）などの値上がりにより0.7%の上昇、設備修繕・維持は前年と同じでした。

表4-2 住居の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成20年平均	平成21年平均	平成20年平均	平成21年平均
住居	101.9	102.5	0.1	0.6
持家の帰属家賃を除く住居	101.2	101.1	-0.3	-0.1
家賃	101.8	102.5	0.1	0.7
持家の帰属家賃を除く家賃	98.7	98.5	-0.7	-0.2
設備修繕・維持	102.4	102.4	0.1	0.0



(3) 光熱・水道

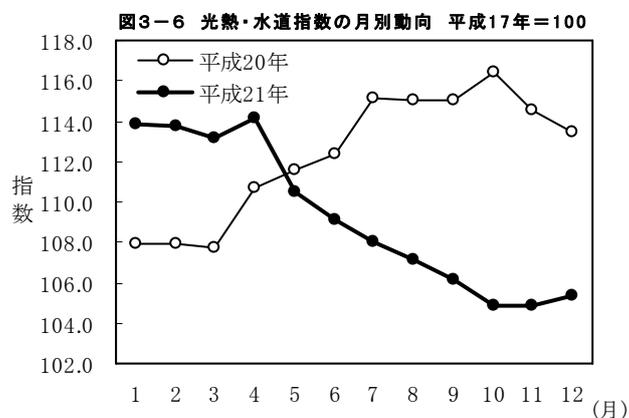
光熱・水道は109.3となり、前年に比べ2.7%の下落でした。

内訳をみると、上下水道が1.9%、電気代が1.1%の上昇、他の光熱（灯油）32.8%、ガス代が3.4%の下落でした。

表4-3 光熱・水道の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成20年平均	平成21年平均	平成20年平均	平成21年平均
光熱・水道	112.3	109.3	7.7	-2.7
電気代	107.1	108.3	4.6	1.1
ガス代	116.9	112.9	8.3	-3.4
他の光熱	157.8	106.0	28.8	-32.8
上下水道	105.0	107.0	6.3	1.9



(4) 家具・家事用品

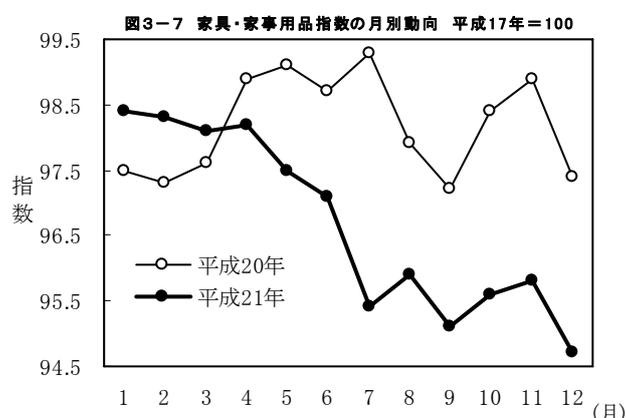
家具・家事用品は 96.7 となり、前年に比べ 1.5% の下落でした。

内訳をみると、家事サービスがし尿処理手数料などの値上がりにより 1.6%、家事用消耗品が洗濯用洗剤などの値上がりにより 0.1% の上昇、室内装備品がカーテンなどの値下がりにより 4.7%、家庭用耐久財が食器戸棚などの値下がりにより 2.9%、寝具類が布団などの値下がりにより 1.9%、家事雑貨が浄水器などの値下がりにより 1.2% の下落でした。

表 4-4 家具・家事用品の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均＝100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成20年平均	平成21年平均	平成20年平均	平成21年平均
家具・家事用品	98.2	96.7	0.3	-1.5
家庭用耐久財	88.8	86.2	-2.3	-2.9
室内装備品	97.7	93.1	-2.4	-4.7
寝具類	102.6	100.7	1.5	-1.9
家事雑貨	102.9	101.7	0.3	-1.2
家事用消耗品	104.7	104.8	2.4	0.1
家事サービス	106.5	108.2	6.7	1.6



(5) 被服及び履物

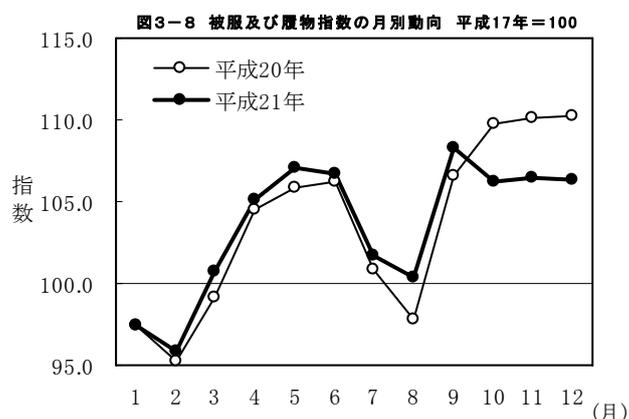
被服及び履物は 103.5 となり、前年に比べ 0.2% の下落でした。

内訳をみると、履物類が運動靴（子供用）などの値上がりにより 2.8%、被服関連サービスが洗濯代（背広服上下）などの値上がりにより 0.5%、シャツ・セーター・下着類が婦人Tシャツ（半袖）などの値上がりにより 0.4% の上昇、他の被服類がマフラーなどの値下がりにより 1.8%、衣料が女兒スカート（夏物）などの値下がりにより 0.9% の下落でした。

表 4-5 被服及び履物の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均＝100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成20年平均	平成21年平均	平成20年平均	平成21年平均
被服及び履物	103.7	103.5	0.4	-0.2
衣料	105.6	104.6	-0.1	-0.9
シャツ・セーター・下着類	102.6	103.0	0.6	0.4
履物類	102.9	105.8	2.0	2.8
他の被服類	98.0	96.2	-1.8	-1.8
被服関連サービス	104.1	104.6	3.3	0.5



(6) 保健医療

保健医療は100.3となり、前年と同じでした。

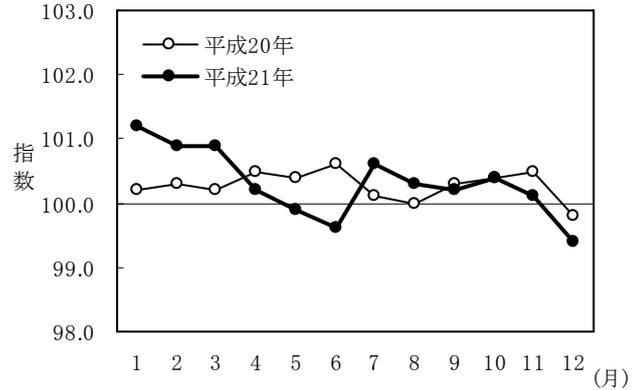
内訳をみると、保健医療サービスが産産入院料（国立）などの値上がりにより1.7%の上昇、医薬品・健康保持用摂取品が目薬などの値下がりにより2.2%、保健医療用品・器具がコンタクトレンズ用剤などの値下がりにより1.4%の下落でした。

表4-6 保健医療の中分類指数と対前年比

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成20年平均	平成21年平均	平成20年平均	平成21年平均
保健医療	100.3	100.3	0.1	0.0
医薬品・健康保持用摂取品	96.8	94.7	-0.9	-2.2
保健医療用品・器具	99.9	98.5	-1.0	-1.4
保健医療サービス	102.3	104.0	0.9	1.7

指数：平成17年平均=100

図3-9 保健医療指数の月別動向 平成17年=100



(7) 交通・通信

交通・通信は97.7となり、前年に比べ5.1%の下落でした。

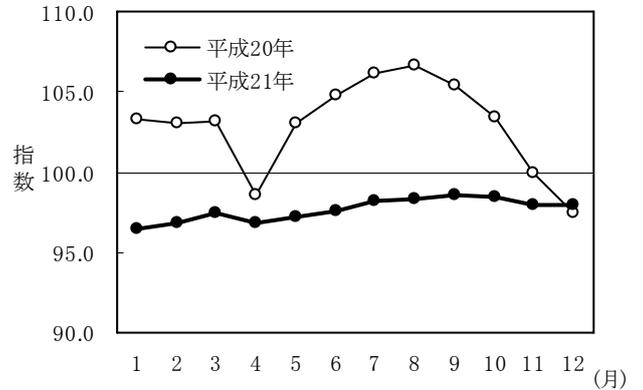
内訳をみると、自動車等関係費がガソリンなどの値下がりにより7.3%、交通が有料道路料金、高速自動車国道料金などの値下がりにより1.6%、通信が運送料などの値下がりにより0.3%の下落でした。

表4-7 交通・通信の中分類指数と対前年比

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成20年平均	平成21年平均	平成20年平均	平成21年平均
交通・通信	102.9	97.7	1.7	-5.1
交通	100.0	98.4	0.1	-1.6
自動車等関係費	106.4	98.6	2.5	-7.3
通信	94.7	94.4	0.3	-0.3

指数：平成17年平均=100

図3-10 交通・通信指数の月別動向 平成17年=100



(8) 教育

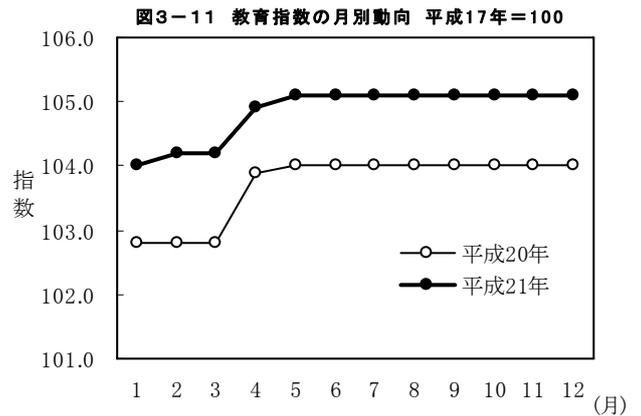
教育は104.8となり、前年に比べ1.1%の上昇でした。

内訳をみると、教科書・学習参考教材が学習参考教材の値上がりにより8.6%、授業料等が専門学校授業料などの値上がりにより1.2%、補習教育が補習教育（小学校）の値上がりにより0.1%の上昇でした。

表4-8 教育の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成20年平均	平成21年平均	平成20年平均	平成21年平均
教育	103.7	104.8	1.2	1.1
授業料等	104.0	105.2	1.2	1.2
教科書・学習参考教材	102.5	111.3	0.2	8.6
補習教育	103.0	103.1	1.1	0.1



(9) 教養娯楽

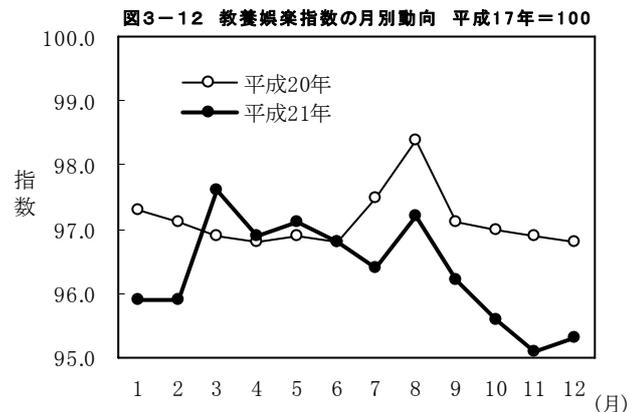
教養娯楽は96.3となり、前年に比べ0.8%の下落でした。

内訳をみると、教養娯楽用品、書籍・他の印刷物がそれぞれ組立がん具、趣味教養誌などの値上がりにより0.2%の上昇、教養娯楽用耐久財がパソコン（ノート型）などの値下がりにより17.9%の続落、教養娯楽サービスは前年と同じでした。

表4-9 教養娯楽の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成20年平均	平成21年平均	平成20年平均	平成21年平均
教養娯楽	97.1	96.3	-0.6	-0.8
教養娯楽用耐久財	53.2	43.7	-18.4	-17.9
教養娯楽用品	102.2	102.4	1.4	0.2
書籍・他の印刷物	101.9	102.1	0.2	0.2
教養娯楽サービス	101.7	101.7	0.6	0.0



(10) 諸雑費

諸雑費は 100.2 となり、前年に比べ 1.1%の下落でした。

内訳をみると、身の回り用品がハンドバッグなどの値下がりにより 3.7%、理美容用品がヘアリンスなどの値下がりにより 2.4%、他の諸雑費が保育所保育料の値下がりにより 0.1%の下落、理美容サービス、たばこは前年と同じでした。

表 4-10 諸雑費の中分類指数と対前年比

指数：平成17年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)	
	平成20年平均	平成21年平均	平成20年平均	平成21年平均
諸雑費	101.3	100.2	0.1	-1.1
理美容サービス	102.3	102.3	0.4	0.0
理美容用品	95.9	93.6	-1.8	-2.4
身の回り用品	110.1	106.0	3.4	-3.7
たばこ	109.2	109.2	0.1	0.0
他の諸雑費	98.4	98.3	-0.2	-0.1

図3-13 諸雑費指数の月別動向 平成17年=100

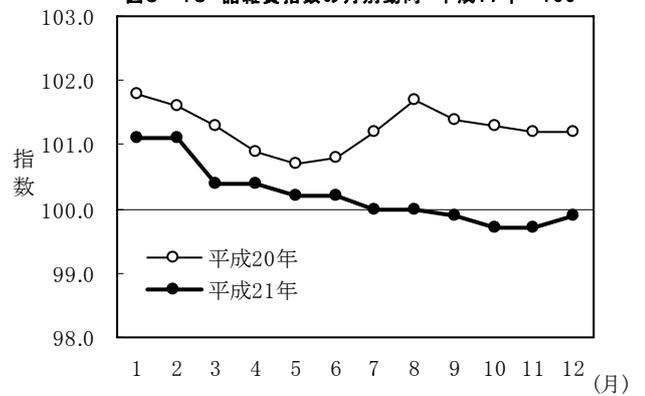
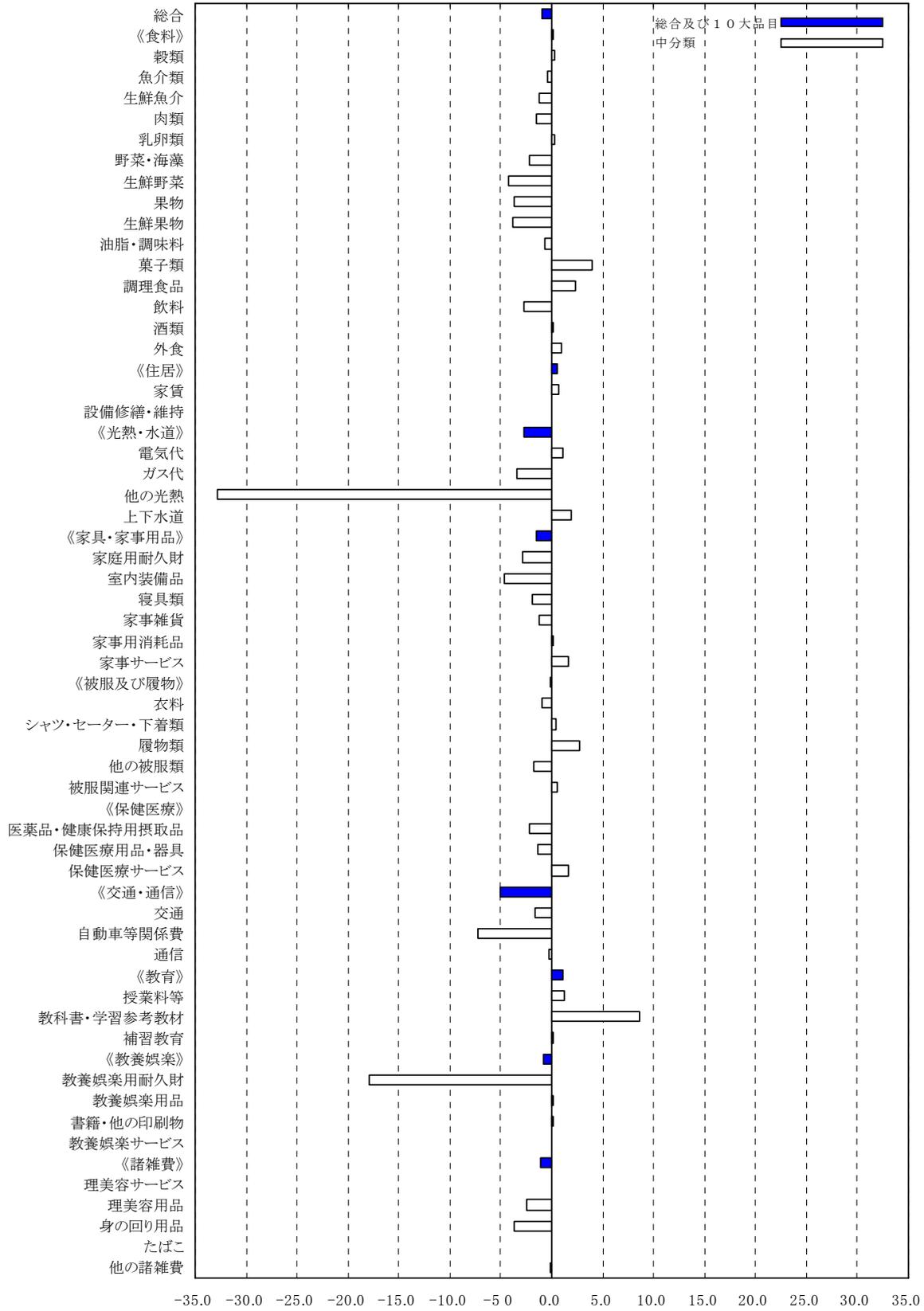


図4 費目別対前年比 (%)

平成17年=100



※ 二重括弧は10大費目を示しています。

4 各費目の総合指数に対する影響(寄与度、寄与率)

寄与度とは、その費目が消費者物価指数をどれだけ上下動させたかを示すもので各費目の合計が総合指数の上昇率と同じになるものです。

また、寄与率とは、総合の上昇率に占める各費目の上昇率の割合を 100分比（各費目の上昇率÷総合の上昇率×100）で表すものです。

平成21年三重県消費者物価指数の総合指数に影響を及ぼした度合（寄与度）を主な中分類別費目でみると、物価を押し上げる方向に働いた費目として、住居の家賃（0.11）や食料の菓子類（0.09）、調理食品（0.07）、外食（0.05）などが挙げられます。一方、物価を引き下げる方向に働いた費目としては、交通・通信の自動車等関係費（-0.76）、光熱・水道の他の光熱（灯油）（-0.19）、教養娯楽の教養娯楽用耐久財（-0.10）、光熱・水道のガス代（-0.07）などが挙げられます。各費目の合計の結果、全体の寄与度は -1.00（＝総合指数の上昇率が -1.0%）となりました。

（表5、図5）

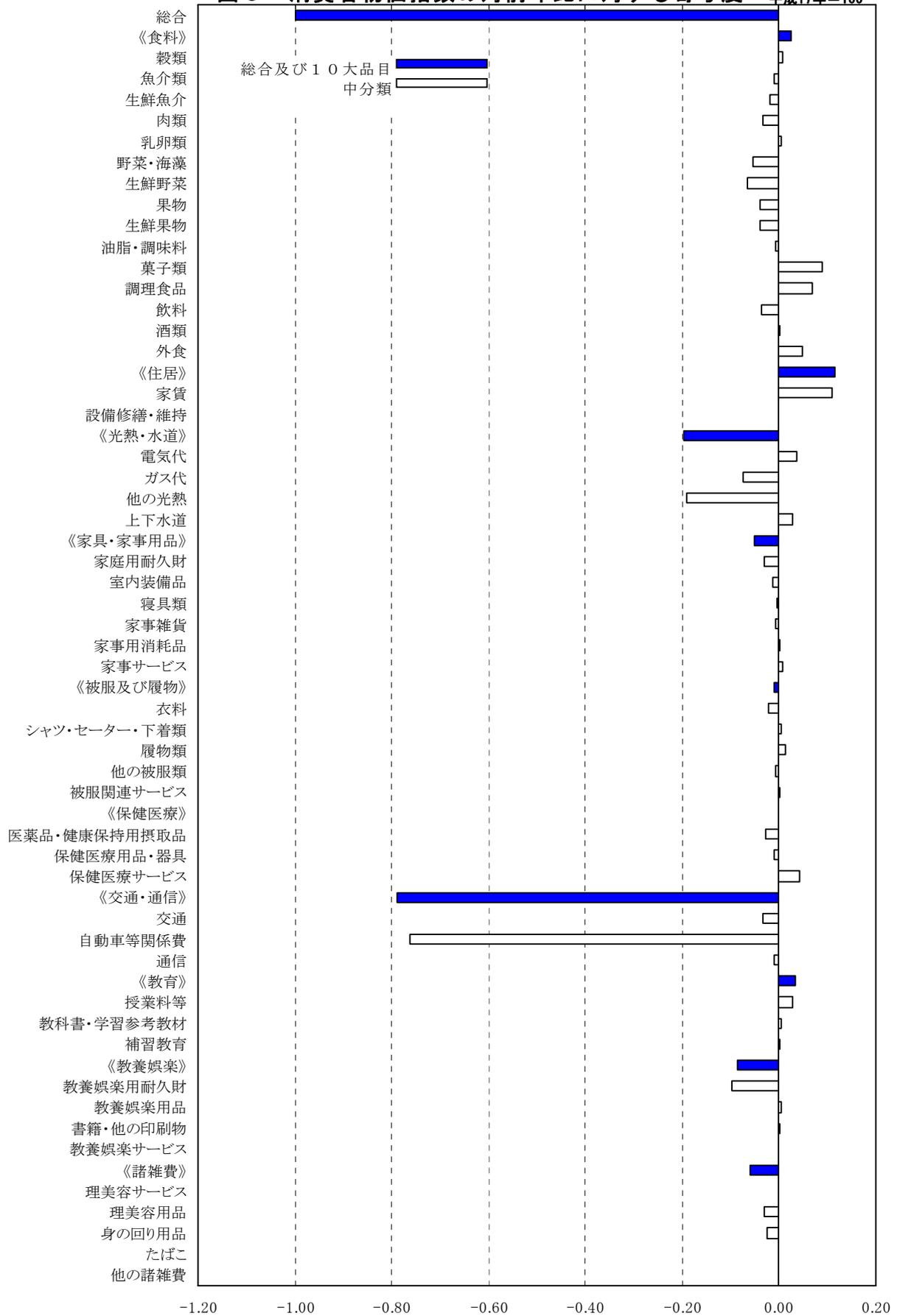
表5 中分類寄与度・寄与率

指数：平成17年平均＝100

	指 数		寄与度	寄与率(%)
	平成20年 平均	平成21年 平均	平成21年 平均	平成21年 平均
総合	102.4	101.4	-1.00	100.0
持家の帰属家賃を除く総合	102.5	101.1	-1.17	116.7
食料	103.1	103.2	0.03	-2.5
穀類	106.0	106.3	0.01	-0.6
魚介類	106.5	106.1	-0.01	1.0
生鮮魚介	108.5	107.2	-0.02	2.0
肉類	105.0	103.4	-0.03	3.2
乳卵類	105.4	105.7	0.00	-0.3
野菜・海藻	102.1	99.9	-0.06	5.5
生鮮野菜	101.2	96.9	-0.06	6.5
果物	101.7	97.9	-0.04	3.9
生鮮果物	102.1	98.2	-0.04	3.8
油脂・調味料	102.4	101.7	-0.01	0.7
菓子類	104.1	108.2	0.09	-9.0
調理食品	102.6	105.0	0.07	-6.9
飲料	96.8	94.2	-0.04	3.5
酒類	98.1	98.3	0.00	-0.2
外食	102.4	103.3	0.05	-4.8
住居	101.9	102.5	0.12	-11.6
持家の帰属家賃を除く住居	101.2	101.1	-0.01	0.5
家賃	101.8	102.5	0.11	-11.0
持家の帰属家賃を除く家賃	98.7	98.5	-0.00	0.3
設備修繕・維持	102.4	102.4	0.00	0.0
光熱・水道	112.3	109.3	-0.20	19.6
電気	107.1	108.3	0.04	-3.6
ガス	116.9	112.9	-0.07	7.3
他の光熱	157.8	106.0	-0.19	19.2
上下水道	105.0	107.0	0.03	-2.7
家具・家事用品	98.2	96.7	-0.05	5.1
家庭用耐久財	88.8	86.2	-0.03	2.9
室内装備品	97.7	93.1	-0.01	1.3
寝具類	102.6	100.7	-0.01	0.6
家事雑貨	102.9	101.7	-0.01	0.8
家事用消耗品	104.7	104.8	0.00	-0.1
家事サービス	106.5	108.2	0.01	-0.6
被服及び履物	103.7	103.5	-0.01	0.9
衣料	105.6	104.6	-0.02	2.1
シャツ・セーター・下着類	102.6	103.0	0.01	-0.6
履物類	102.9	105.8	0.01	-1.3
他の被服類	98.0	96.2	-0.01	0.6
被服関連サービス	104.1	104.6	0.00	-0.1
保健医療	100.3	100.3	0.00	0.0
医薬品・健康保持用摂取品	96.8	94.7	-0.03	2.8
保健医療用品・器具	99.9	98.5	-0.01	1.1
保健医療サービス	102.3	104.0	0.04	-4.4
交通・通信	102.9	97.7	-0.79	78.8
交通	100.0	98.4	-0.03	3.2
自動車等関係費	106.4	98.6	-0.76	76.3
通信	94.7	94.4	-0.01	1.0
教育	103.7	104.8	0.03	-3.4
授業料等	104.0	105.2	0.03	-2.8
教科書・学習参考教材	102.5	111.3	0.01	-0.6
補習教育	103.0	103.1	0.00	-0.1
教養娯楽	97.1	96.3	-0.08	8.4
教養娯楽用耐久財	53.2	43.7	-0.10	9.6
教養娯楽用品	102.2	102.4	0.00	-0.5
書籍・他の印刷物	101.9	102.1	0.00	-0.3
教養娯楽サービス	101.7	101.7	0.00	0.0
諸雑費	101.3	100.2	-0.06	5.9
理美容サービス	102.3	102.3	0.00	0.0
理美容用品	95.9	93.6	-0.03	3.0
身の回り用品	110.1	106.0	-0.03	2.5
たばこ	109.2	109.2	0.00	0.0
他の諸雑費	98.4	98.3	-0.00	0.2

注・寄与度の数値は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

図5 消費者物価指数の対前年比に対する寄与度 平成17年=100

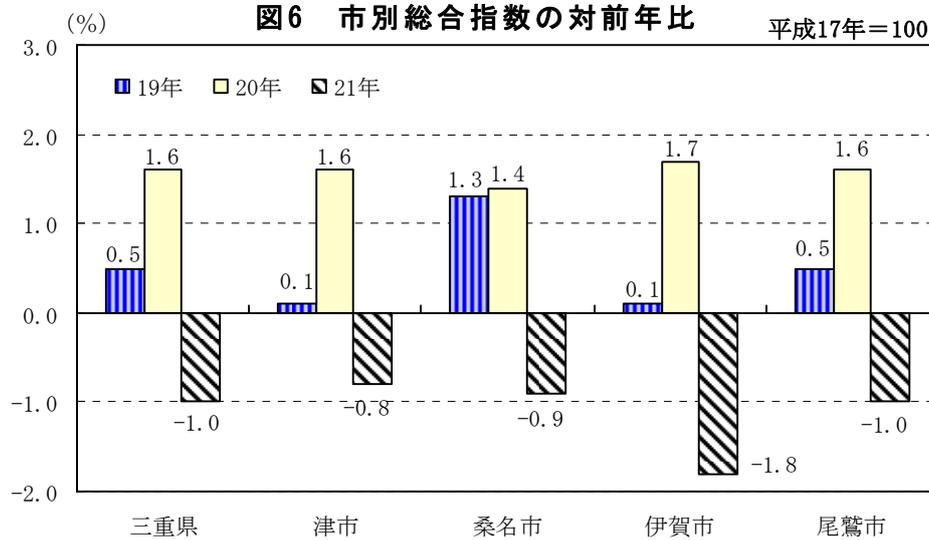


※ 二重括弧は10大費目を示しています。

5 各市の動き

県内4市の消費者物価指数の動きを対前年比で見ると、津市*で-0.8%、桑名市*で-0.9%、伊賀市*で-1.8%、尾鷲市で-1.0%でした。

(図6、表6)



(内訳)

4市ともに教育が上昇し、光熱・水道、家具・家事用品、交通・通信、教養娯楽、諸雑費が下落しました。

市別にみると、津市では、諸雑費が1.3%の下落で4市中最大の下落幅となっています。

桑名市では、住居が2.0%の上昇、保健医療が0.7%の上昇で4市中最大の上昇幅となっています。また、教養娯楽が1.4%の下落で4市中最大の下落幅となっています。

伊賀市では、食料が1.0%の下落、光熱・水道が5.6%の下落、家具・家事用品が2.8%の下落、被服及び履物が1.6%の下落で4市中最大の下落幅となっています。

尾鷲市では、食料が1.3%の上昇、被服及び履物が1.7%の上昇で4市中最大の上昇幅となっています。また、交通・通信が5.8%の下落で4市中最大の下落幅となっています。

表6 都市別10大費目別対前年比

(単位：%)

	総 合	持 家 の 帰 属 家 賃 を 除 く 総 合	食 料	住 居	光 熱 ・ 水 道	家 具 ・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通 ・ 通 信	教 育	教 養 娯 楽	諸 雑 費
津市	-0.8	-1.1	0.3	0.1	-0.5	-0.8	0.0	-0.4	-5.1	1.1	-0.3	-1.3
桑名市	-0.9	-1.4	0.3	2.0	-4.2	-2.1	0.0	0.7	-5.0	1.0	-1.4	-1.0
伊賀市	-1.8	-2.0	-1.0	0.1	-5.6	-2.8	-1.6	0.4	-5.2	1.2	-1.3	-0.9
尾鷲市	-1.0	-1.2	1.3	0.0	-4.7	-1.2	1.7	-0.4	-5.8	1.2	-0.6	-0.2

* 時系列での変動を比較するため、平成11年以降の旧合併特例法による合併前の旧市地域での調査としています。